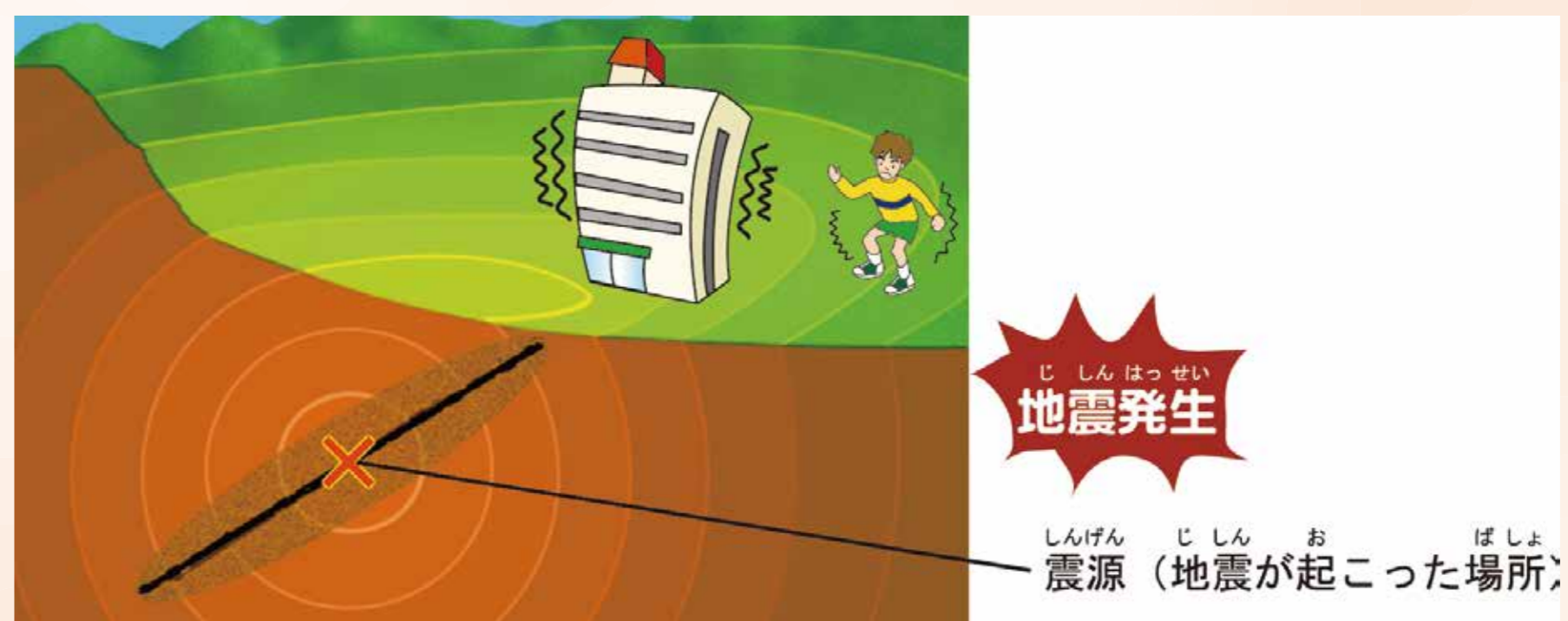
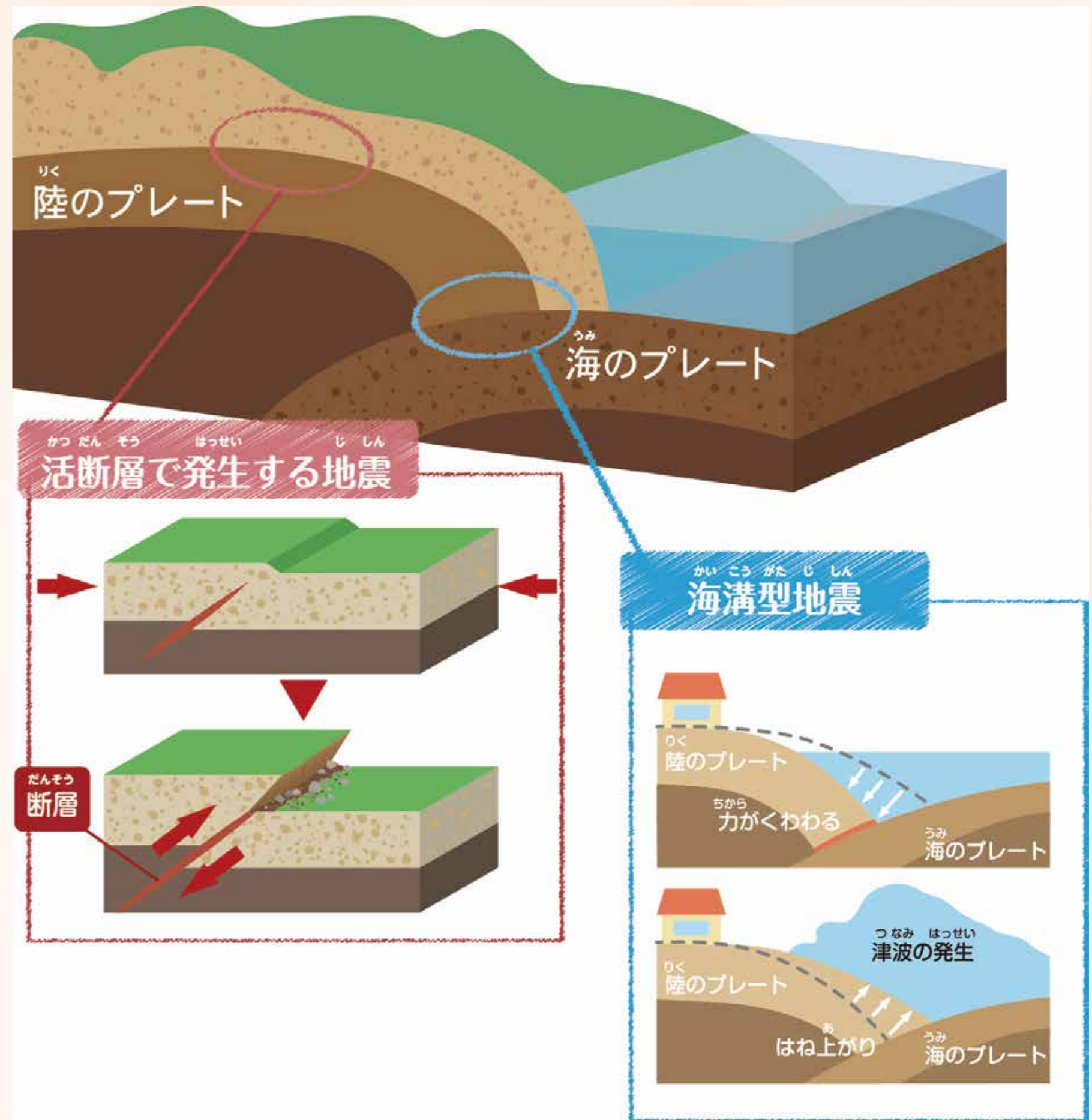


# 震度ってなに？

地震は、陸や海のプレートに力が加わり、境目（断層）の岩盤がずれて発生します。地震の強いゆれを観測した地点の範囲が広いほど、地震の規模が大きくなります。この地震の規模を表すのが「マグニチュード」です。

地震の揺れ始めの震源地は点ですが、地震の規模が大きいと震源地は点ではなく面になります。断層の面積や岩盤がずれた面積が広いほどマグニチュードは大きくなります。

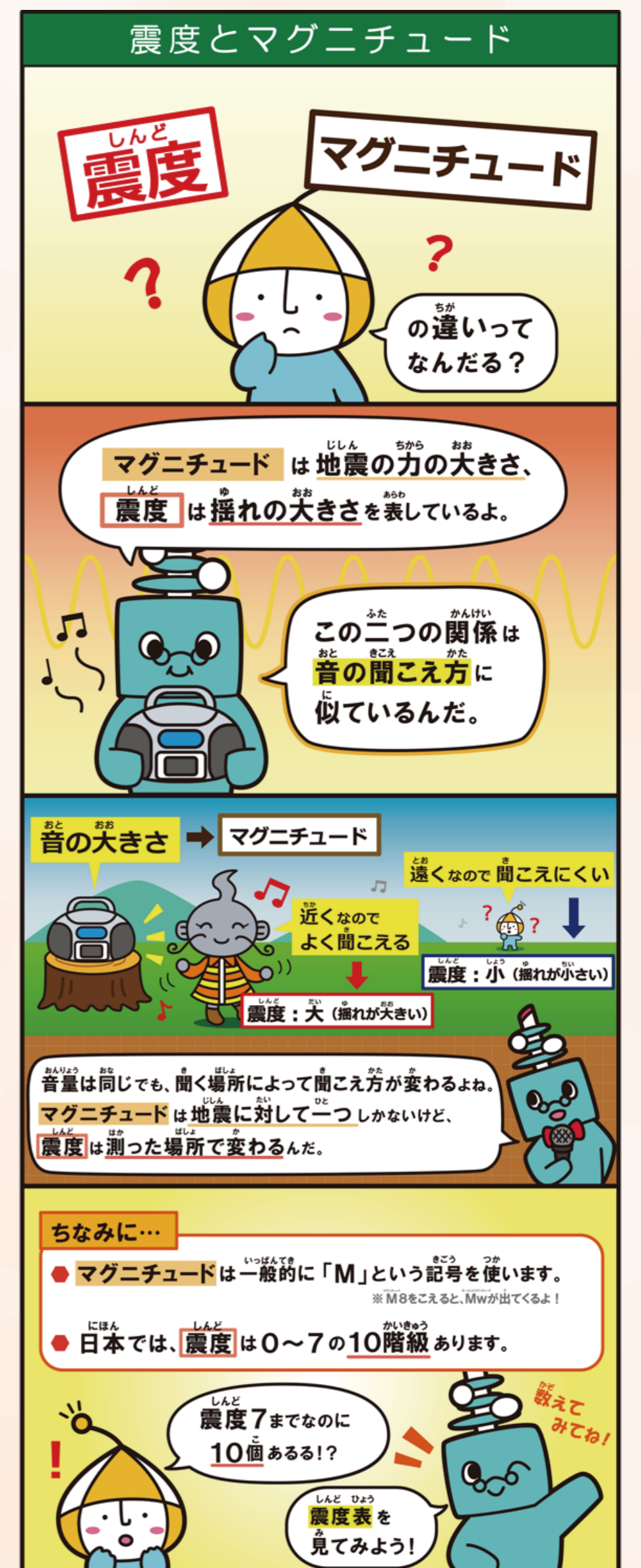
「震度」は震源からの距離によって、ゆれの大きさが違います。震度0から震度7まで10段階あり、ゆれの大きさによってその感じ方や地震によって起こる被害が違います。



出典：地震調査研究推進本部



出典：地震調査研究推進本部



## 震度はどうやって決めるの？

震度は地震による揺れ(P波とS波、地面の表面波)を感知し、自動的に震度を計算する「震度計」という機器で観測しています。地震が発生すると全国の震度計で観測された震度を自動的に取集し、気象庁では、地震発生から約1分半後(震度3以上の場合)に各地域の震度を速報でお知らせします。